

人と企業の成長をめざす！

# みえ企業成長塾

# NEWS

News Letter Vol. **1**

〒510-0244 三重県鈴鹿市白子町 2926  
パレンティーアオフィス 101 号室

**みえ企業成長塾事務局**  
(社会保険労務士法人 ナデック)

tel 059-388-3608 fax 059-388-3616  
<http://www.kigyouseitoyou.com>

## みえ企業成長塾 第1回を開講しました！

5月22日(土)、「みえ企業成長塾」を開講しました。第1回のテーマは、「成長するための採用と教育」。企業の採用問題と教育に詳しい、キャリアカウンセラーの高木透氏をゲスト講師にお迎えしました。

これだけ就職難の時代でも、採用や教育に苦しむ企業はますます増えてきている。とにかく、求職者と企業との「ギャップ」が今ほど広がった時代はないのだというお話から、高木さんの講義が始まりました。



講師の大阪・滋賀地区での独自の調査によると、求職者が企業を選択する際の条件、第1位は・・・。「仕事内容」でも、「企業イメージ」でも、「給与の水準」でもなく、なんと「福利厚生」。これには、驚かされた方も多かったようです。

こんな時代でも(だからこそ)企業は、間違いなく「求職者に選択されている」。だから、今までと同じような感覚で、求人広告を出したり、採用選考をしていたのでは、優秀な人材が定着するのは難しいのです。

講義中もっとも盛り上がったのは、講師からの参加者への次の質問。

「プロ野球の監督で、理想の上司だと思うのはだれですか？」

講師の答えは、第1位・・・原監督。第2位・・・落合監督。第3位・・・西部の渡辺監督でした。

原監督がダントツ1位の理由は、「自分の持ち味を

発揮できるし、自主性を重んじてくれそうだから」。「自主性」が、キーワードだったようです。

講師の調査では、王監督や長嶋監督を挙げた人はいなかったそうです。時代の流れとともに、求められるリーダー像も変わってきていることを強く感じます。



講師が何度も強調されたのは、とにかく「人は話す生き物であるということ」。このことは、分かっているようで分かっておらず、簡単なようで簡単でないことを痛感させられます。

具体的なコミュニケーション手法の手ほどきの後、採用と教育のポイントが分かりやすく解説されました。

キーワードは、「ヒアリング」。これをいかに位置づけるかが、まさに企業の成否を分けるのです。具体的な企業の実践例が、分かりやすく紹介されました。

約1時間という短い時間でしたが、中小企業の経営者が考えるべき採用と教育のポイントについて、盛りだくさんのトピック。

参加者の方からも、とても好評いただくセミナーとなりました。講師を務めてくださった高木さん、ご参加くださったみなさんに、改めて感謝いたします。

次回は、7月24日(土)、経営コンサルタントの中尾光宏氏をお迎えして、「成長するための経営と財務」についてお話しいただく予定です。中小企業の財務の基本と融資について、個別のアドバイスもいただけることになっています。ぜひ、ご期待ください。(小岩)